

## はぎのさんちの復興支援活動

### 《事業報告書》

はぎのさんちのメンバー（萩野美智子、真由美、久美子）が2015年秋～2016年冬にかけて、今回のメイン事業となった、名取市文化会館での「はぎのさんちの春待ちコンサート」を中心に、被災地に訪れ復興を願い音楽を通して活動をした。活動内容については以下の通りである。

#### ① 2015年9月の陸前高田高校での指導

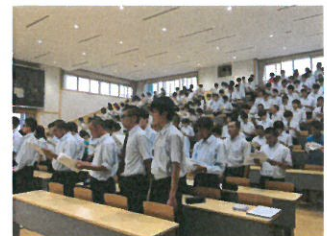
期間：2015年9月6、7日

参加者：萩野美智子（声楽）、萩野真由美（ピアノ）

場所：陸前高田高校講堂

活動内容：

陸前高田高校講堂にて、高校1年生、2年生全校生徒を対象に、授業一コマ45分間の合唱指導。アンジェラ・アキの「手紙～拝啓十五の君へ～」を歌う。指導した曲はCMに使用され、「ふるさとCM大賞 in IWATE」を受賞した。



●写真1～3：陸前高田高校講堂にて合唱レッスン

#### ② 2015年11月の美田園での活動

期間：11月25日

参加者：萩野美智子（声楽）

場所：名取市美田園第一仮設住宅集会場

活動内容：

美田園仮設住宅の被災者の皆様と一緒に「手のひらを太陽に」などの曲を題材に、体を動かしながら歌の指導。

#### ③ はぎのさんちの春待ちコンサート

期間：平成27年2月6日～7日

参加者：萩野美智子（声楽） 萩野真由美（ピアノ） 萩野久美子（声楽）

湯澤直幹（声楽） 追川礼章（ピアノ）  
コハーン・イシュトヴァーン（クラリネット）

場所：名取市美田園第一仮設住宅、名取市文化会館中ホール

活動内容：

● 2月6日（土）14:00～15:00

美田園第一仮設住宅集会場にて、にてはぎのさんちメンバーでリクエストコンサート開催。  
仮設住宅の方を中心に、40名以上の方が参加。



●写真4：美田園第一仮設住宅集会場にて

● 2月7日（日）14:00 開演 はぎのさんちの春待ちコンサート

会場：名取市文化会館 中ホール（宮城県名取市増田柳田520）

名取市文化会館にて復興支援コンサートを開催。

一部：日本の歌、クラリネットソロ

二部：オペラを歌う、みんなで歌おうと盛りだくさんの内容となった。

司会には、地元で伊藤恵子さんにも参加頂き、会場を盛り上げた。  
会場は大変盛り上がり、最後は客席の皆様も一緒に「ふるさと」を歌い、復興を願った。当日は、330人のお客様がご来場頂き、  
名取市市長などもお越しくださった。



●写真5：はぎのさんちの  
春待ちコンサートチラシ



●写真6：名取市文化会館中ホール



●写真7：コハーンソロ





●写真8：終演後ロビーにて名取市長と

宮城 MIYAGI  
sendai@mainichi.co.jp

仙台支局  
980-0012  
台市青葉区錦町1の5の1  
022(222)5972 FAX022(222)6048  
善通信部  
022(222)5972 FAX0225(23)8581  
駐在  
022(366)7779 FAX022(367)7713  
善通信部  
229(22)0316 FAX0229(22)3342  
駐在  
224(53)4266 FAX0224(52)7160  
沼通信部  
022(222)5972 FAX0226(23)3031

毎日広告社仙台  
022(265)4111  
ケンオリ  
仙台営業所  
022(217)6766  
0120-468-012

|          |     |          |
|----------|-----|----------|
| 222-9381 | 仙台西 | 222-9381 |
| 263-2541 | 南小泉 | 263-2541 |
| 362-1474 | 石巻  | 95-9888  |
| 22-0604  | 原の町 | 256-3636 |
| 362-1474 | 気仙沼 | 22-0202  |
| 22-3538  | 白石  | 26-2553  |

## 被災者に元気を 復興コンサート

滋賀が拠点の音楽グループ

東日本大震災で被災した人々を元気づけようと7日、名取市文化会館で復興支援コンサートが開かれた。滋賀県を拠点に活躍する音楽グループ「はぎのさんち」は、本音楽コンクールクラリネット部門で優勝したハンガリー人のコハーン・イシュトバーンさん(26)などが演奏した。約330人が会場に詰めかけた。

「はぎのさんち」はメンソフ・歌手で母の秋野美智子さん(60)、ピアノ奏者の長女真由美さん(31)、ソプラノ歌手の次女久美子さん(25)の3人が5年前に結成した。昨年9月に初めて名取市を訪れた美智子さんは、閉上地区の被害の様子を目の当たりにし「自分に何ができるんだろうと考えさせられた。以来、市内の仮設住宅などを回り演奏会を開いている。

この日は真由美さんのピアノに合わせて、美智子さん、久美子さんが滝廉太郎作曲の「花」や童謡「ふるさと」を歌った。演奏終了後、美智子さんは「音楽で被災地のみなさんと一緒に元気になる」と話した。

コハーンさんは坂本九の「上を向いて歩こう」などを披露。昨年7月以来となる同市のコンサートに「町が静かになって気がなってきた。出会う人はみんな前向き。僕の音楽を聴いてほしい」と話した。

コンサートを主催した美田園第一仮設住宅自治会長の高橋善夫さん(73)は「すばらしい演奏に元気をもらった。早く震災から立ち直る」と笑顔を見せた。【本橋敦子】

●新聞記事1：はぎのさんちの春待ちコンサートについての記事 2月8日毎日新聞朝刊掲載

春の歌で安らぎ  
被災地に届ける  
名取で7日コンサート

東日本大震災の復興支援イベントとして7日、名取市文化会館で「はぎのさんちの春待ちコンサート」が開かれる。滋賀県栗東市の「NPOプラムスホール協会」などをつくる実行委員会の主催。

同協会代表の秋野美智子さん(メソソプラノ)、秋野さんの長女真由美さん(ピアノ)、次女久美子さん(ソプラノ)の3人でつくる家族ユニット「はぎのさんち」が出演し、「早春賦」など「春待ち歌」を披露する。

クラリネット奏者コハーン・イシュトヴァアンさんから共演者の演奏やオペラの名曲も届ける。実行委は「アットホームな雰囲気の中でクラシックの名曲を楽しみ、安らぎの時間を過ごしてほしい」と話す。

開演は午後2時。入場無料。連絡先は実行委事務局 03(6902)2678。

●新聞記事2：はぎのさんちの春待ちコンサートについて告知 2月2日河北新聞朝刊掲載

## 費用内訳

### ・ 交通費

- ・ 2/6,7 240,200 円 (往復交通費出演者 6 名、スタッフ 2 名)
- ・ 11/25 42,730 円 (東京⇔名取 往復交通費 2 名)
- ・ 11/25 11,210 円 (米原→東京 往路)
- ・ 11/26 11,210 円 (東京→米原 復路)

交通費計 305,350 円

### 宿泊費

- ・ 2/6 名取市宿泊 39,500 円 (7,900 円×5 名宿泊)

総合計 344,850 円 (うち支援対象経費 300,000 円)

---